

調査の目的と実施概要

1 調査の背景と目的

防災（災害復興を含む）における男女共同参画の視点の重要性については、国全体の防災のマスタープランである「防災基本計画」に盛り込まれ、さらに「第3次男女共同参画基本計画」においては、新たに「地域、防災・環境、その他の分野における男女共同参画の推進」として、重点分野の1つに位置づけられている。しかし、東日本大震災に際しては、被災者支援、避難所運営、生活再建等復興支援などの各段階で、男女共同参画の視点からの対応が十分とはいえない状況が見えた。

その様な中で、被災地の男女共同参画センター及び女性センター（以下、男女共同参画センター）の中には男女共同参画の視点を発揮しつつ、地域の被災者支援の拠点施設として、支援活動を実践してきたところも多く、また、そうした活動に触発され、全国各地の男女共同参画センターの支援活動や防災関連事業も大変活発に行われた。

これまで大災害に直面した際には、社会福祉協議会やボランティアセンターの支援活動の事例は伝えられても、男女共同参画センターの支援活動については十分に報告されることはなかった。今回の東日本大震災に際して、ようやく災害対応・防災における男女共同参画センターの活動実態やその役割が明らかになりつつある。

このため、東日本大震災に際して、被災地の男女共同参画センター及び全国各地の主な男女共同参画センターがどのような被災者支援や災害・復興対応を行ったかを明らかにし、男女共同参画センターの災害時における役割と課題を検証することを目的として、男女共同参画センターによる被災者支援等災害対応の活動について調査を実施した。

2 調査の実施概要

(1) インタビュー調査

①調査時期

2011年7月～8月

②調査対象

被災地の男女共同参画センター11か所、被災地以外の男女共同参画センター2か所の計13か所の男女共同参画センターを対象に調査を実施した。また、男女共同参画センターが女性専用スペースの運営支援を行った複合コンベンション施設である、ビッグパレットふくしまも調査対象とした。

青森県男女共同参画センター（アピオあおもり）

岩手県男女共同参画センター

もりおか女性センター

宮城県婦人会館（プランドゥ）

仙台市男女共同参画推進センター（エル・パーク仙台）

仙台市男女共同参画推進センター（エル・ソーラ仙台）
福島県男女共生センター（女と男の未来館）
福島市男女共同参画センター（ウィズもとまち）
郡山市男女共同参画センター（さんかくプラザ）
いわき市男女共同参画センター
茨城県女性プラザ（レイクエコー）
埼玉県男女共同参画推進センター（With You さいたま）
兵庫県立男女共同参画センター（イーブン）
ビッグパレットふくしま

③調査方法

公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会職員が現地に赴き、男女共同参画センター担当者にインタビューによる調査を実施した。このうち8か所には内閣府から、3か所には横浜市の職員も同行した。

④調査項目

3月11日の東日本大震災発災時から調査時点までの被災者支援や災害・復興対応について、具体的には、発災時の状況、実施した支援等の活動（活動の中で特筆すべきこと、できたこと・できなかったこととその理由）、今後に向けての課題や活動予定などをインタビュー調査した。

（2）アンケート調査

①調査時期

2011年8月

②調査対象

全国女性会館協議会の会員館88か所

③調査方法

全国女性会館協議会が毎年会員館に実施する現況調査にあわせ、アンケート調査票を同封して郵送配布した。また、調査票の回収も郵送とした。

④調査項目

東日本大震災に関連した被災者支援等の活動や今後の活動予定の有無を尋ね、実施した活動と今後実施する予定の活動についてはその概要の記述を求めた。

⑤回収状況

82か所から回答があった。具体的な活動内容を記述し公表を可とした60か所については、記述内容を掲載した。

（3）調査担当

インタビュー調査は、公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会が実施し、アンケート調査は、特定非営利活動法人全国女性会館協議会が実施した。また、それら調査結果を踏まえ、内閣府が「男女共同参画センターを中心とした災害対応」をまとめた。